

2026年3月期 第3四半期決算説明会資料

2026年2月5日

<注意事項>

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在入手可能な情報を勘案して作成しております。
このため、今後の経済情勢の変化等によって、実際の業績は異なることがあります。

- ・ 2025年度第3四半期決算の実績、および2025年度の通期業績予想の修正について説明します。

1. 2025年度第3四半期業績	P02
2. 2025年度業績予想の修正	P05
3. 事業別の概況	P11
4. 財政状態及び株主還元	P20
5. その他	P23

1 2025年度第3四半期業績

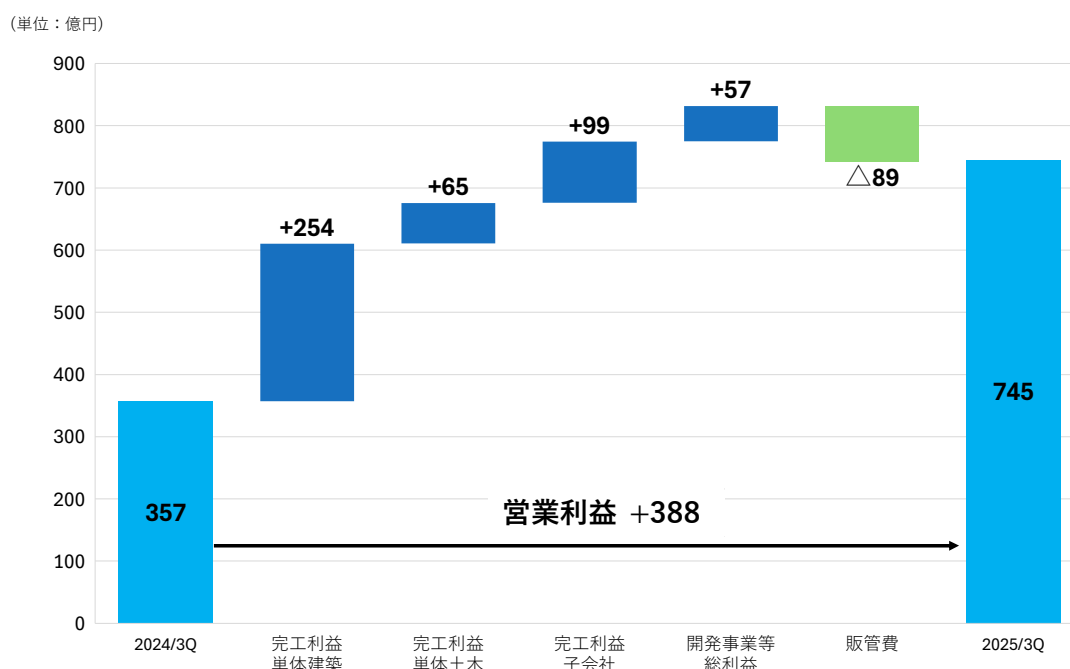
2025年度第3四半期業績（連結・単体）



(単位：億円)	連結				単体			子会社		
	2024/3Q 実績	2025/3Q 実績	増減	進捗率	2024/3Q 実績	2025/3Q 実績	増減	2024/3Q 実績	2025/3Q 実績	増減
売上高	13,279	14,293	1,013	71.1%	10,232	11,027	794	3,047	3,266	219
完成工事高	11,742	12,833	1,091	71.3	9,605	10,390	785	2,137	2,443	306
開発事業等売上高	1,536	1,459	△77	69.5	627	636	9	909	823	△86
売上総利益	9.2%	11.9%	477	68.4	7.9%	10.5%	350	414	542	127
完成工事総利益	8.5%	11.1%	419	66.8	7.2%	9.7%	320	312	412	99
開発事業等総利益	14.0%	18.7%	57	78.1	18.1%	22.6%	30	102	130	27
販管費	861	950	89	68.9	616	643	26	245	307	63
営業利益	2.7%	5.2%	388	67.8	1.8%	4.6%	324	170	234	64
経常利益	3.1%	5.6%	393	72.6	3.0%	5.9%	342	107	158	51
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.1%	5.7%	403	73.6	3.7%	8.7%	578	22	△152	△175
(参考) 1株当たり 当期純利益 (円)	57.96	119.32			54.73	141.75				
建設事業受注高	11,026	16,413	5,386	80.1	8,677	13,719	5,042	2,349	2,694	344

※進捗率は、今回修正した通期予想に対する進捗率を表示しております。
※子会社欄の数値は、連結決算から単体決算を差し引いて表示しております。

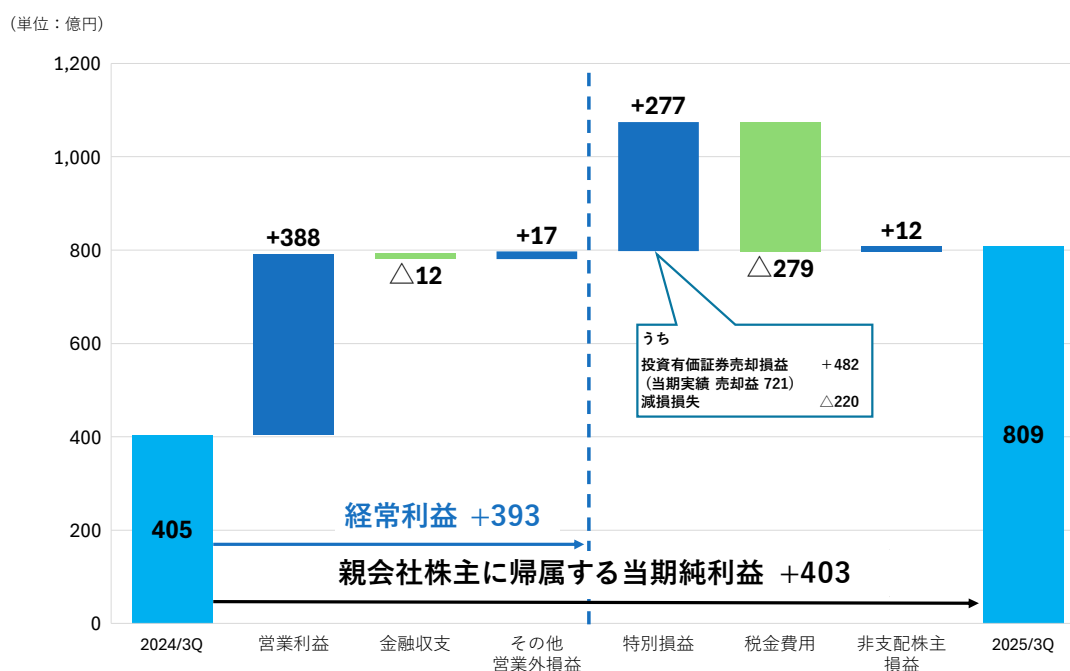
- ・まず、2025年度第3四半期決算の実績について説明します。
- ・連結業績について、当期の売上高合計は1兆4,293億円で、前年同期に比べ1,013億円の増加となりました。
- ・売上総利益は1,696億円で、建設事業・開発事業等ともに増加となりました。
- ・営業利益は745億円、経常利益は805億円、当期純利益は809億円で、いずれも前年同期に比べ、大幅な増益となりました。
- ・建設事業受注高は1兆6,413億円で、大型再開発工事の受注が複数あったことなどにより、前年同期に比べ5,386億円の大幅な増加となりました。



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

3

- ・第3四半期の営業利益について、前年同期比での増減要因を説明します。
- ・単体建築の工事利益は、手持工事の採算が改善したことなどから、前年同期に比べ254億円増加、単体土木の工事利益は、65億円増加しました。
- ・子会社の工事利益は、日本道路の業績改善に加え、新たにM & Aにより子会社となったGrandwork社、Cross Management社の業績が反映されたことなどから、前年同期に比べ99億円増加しました。
- ・開発事業等総利益は、当社や国内の不動産子会社において、開発物件の売却があったことなどから、前年同期に比べ57億円増加しました。
- ・販管費は89億円の増加で、新たにM & Aにより海外子会社が2社増加したことなどにより、子会社が63億円の増加となりました。
- ・この結果、営業利益は、前年同期に比べ388億円増加し、745億円となりました。



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

4

- ・第3四半期の当期純利益について、前年同期比での増減要因を説明します。
- ・経常利益は、主に営業利益が増益となったことにより、393億円の増益となりました。
- ・特別損益のうち、投資有価証券売却益は721億円となり、前年同期に比べ482億円増加しました。
- ・また、特別損失に米国の不動産子会社が保有する賃貸オフィスビル2物件について、220億円の減損損失を計上しました。
いずれも物件取得後、新型コロナウイルス感染症の流行を契機としたオフィス需要の減退や急激な金利上昇などにより収益性が低下し、当第3四半期に、直近の入居テナントの状況等を踏まえ将来の回収可能性を検討した結果、減損損失の計上に至ったものです。
- ・これらの結果、当期純利益は、前年同期に比べ403億円増加し、809億円となりました。

2 2025年度業績予想の修正

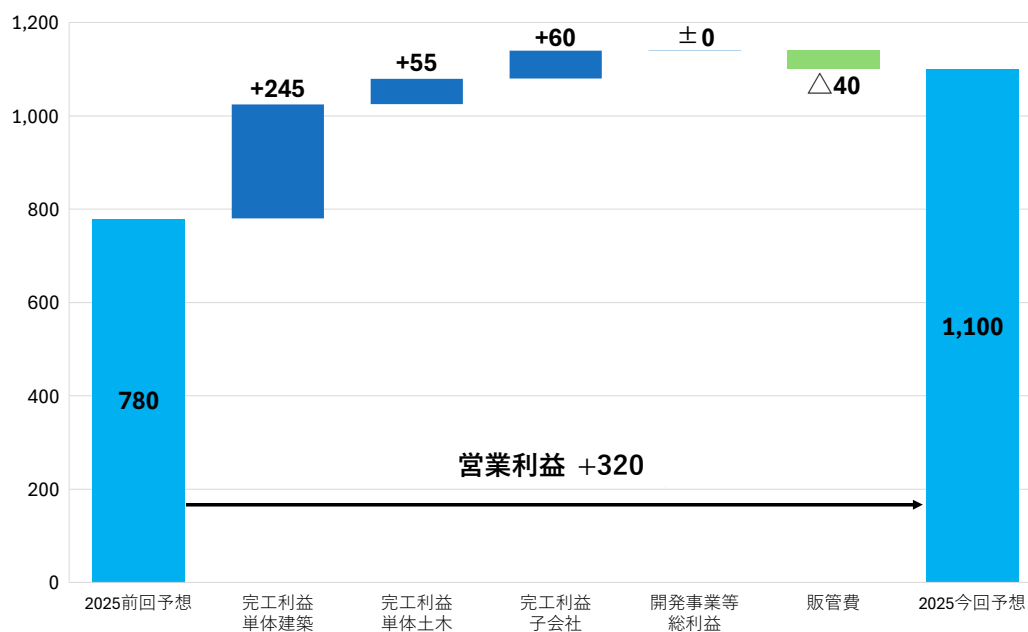
2025年度業績予想（連結・単体）－前回予想比

(単位：億円)	連結			単体			子会社		
	2025 前回予想	2025 今回予想	増減	2025 前回予想	2025 今回予想	増減	2025 前回予想	2025 今回予想	増減
売上高	19,100	20,100	1,000	14,700	15,500	800	4,400	4,600	200
完成工事高	17,100	18,000	900	13,700	14,500	800	3,400	3,500	100
開発事業等売上高	2,000	2,100	100	1,000	1,000	—	1,000	1,100	100
売上総利益	11.1% 2,120	12.3% 2,480	360	9.9% 1,460	11.4% 1,760	300	660	720	60
完成工事総利益	10.4% 1,770	11.8% 2,130	360	9.1% 1,250	10.7% 1,550	300	520	580	60
開発事業等総利益	17.5% 350	16.7% 350	—	21.0% 210	21.0% 210	—	140	140	—
販管費	1,340	1,380	40	930	940	10	410	440	30
営業利益	4.1% 780	5.5% 1,100	320	3.6% 530	5.3% 820	290	250	280	30
経常利益	3.8% 730	5.5% 1,110	380	3.9% 580	6.0% 925	345	150	185	35
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.9% 750	5.5% 1,100	350	5.0% 730	8.3% 1,290	560	20	△190	△210
建設事業受注高	16,900	20,500	3,600	14,000	17,000	3,000	2,900	3,500	600

※子会社欄の数値は、連結決算から単体決算を差し引いて表示しております。

- ・2025年度通期の業績予想について説明します。
- ・2025年11月に公表した業績予想を上方修正しております。
- ・連結業績について、当期の売上高合計は2兆100億円で、前回予想に比べ1,000億円の増加で見込みます。
- ・売上総利益は2,480億円で、前回予想に比べ360億円の増加で見込みます。
- ・営業利益は1,100億円、経常利益は1,110億円、当期純利益は1,100億円で、いずれも前回予想に比べ、増益で見込みます。

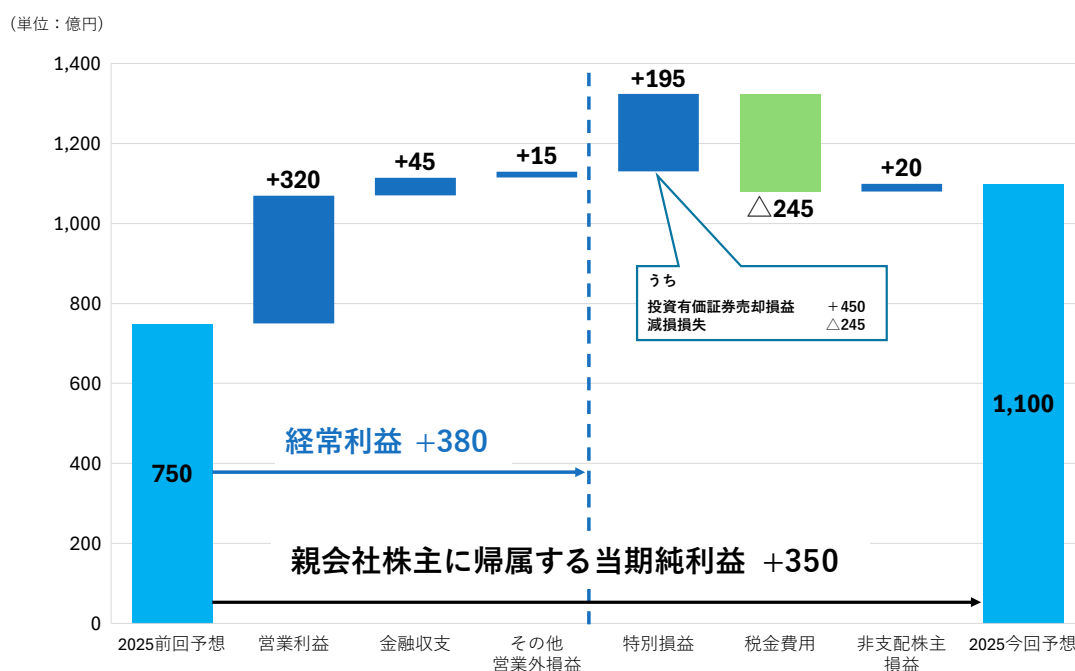
(単位：億円)



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

6

- ・ 営業利益の通期予想について、前回予想比での増減要因を説明します。
- ・ 営業利益は、販管費が増加するものの、単体の建築及び土木事業や建設子会社の完成工事総利益が増加することから、前回予想に比べ320億円の増益で見込みます。



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

7

- ・当期純利益の通期予想について、前回予想比での増減要因を説明します。
- ・営業利益が増益となることに加え、金融収支が改善することなどから、経常利益は、前回予想に比べ380億円の増益で見込みます。
- ・特別損益は、米国の不動産子会社で減損損失を計上したものの、投資有価証券売却益が大幅に増加することから、前回予想に比べ195億円の改善で見込みます。
- ・この結果、当期純利益は1,100億円で、前回予想に比べ350億円の増益で見込みます。

2 2025年度業績予想の修正

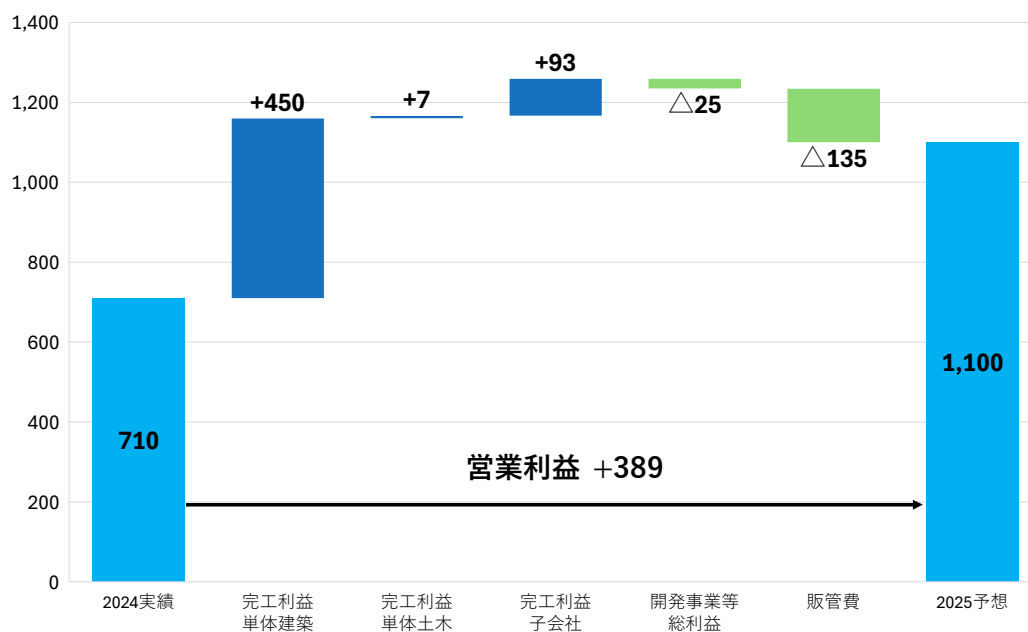
2025年度業績予想（連結・単体）－前期実績比

(単位：億円)	連結			単体			子会社		
	2024 実績	2025 予想	増減	2024 実績	2025 予想	増減	2024 実績	2025 予想	増減
売上高	19,443	20,100	656	15,015	15,500	484	4,428	4,600	172
完成工事高	16,960	18,000	1,039	13,819	14,500	680	3,141	3,500	359
開発事業等売上高	2,483	2,100	△383	1,195	1,000	△195	1,288	1,100	△188
売上総利益	10.1% 1,954	12.3% 2,480	525	8.8% 1,324	11.4% 1,760	435	630	720	90
完成工事総利益	9.3% 1,578	11.8% 2,130	551	7.9% 1,091	10.7% 1,550	458	487	580	93
開発事業等総利益	15.1% 375	16.7% 350	△25	19.4% 232	21.0% 210	△22	143	140	△3
販管費	1,244	1,380	135	883	940	56	361	440	79
営業利益	3.7% 710	5.5% 1,100	389	2.9% 440	5.3% 820	379	270	280	10
経常利益	3.7% 716	5.5% 1,110	393	3.4% 516	6.0% 925	408	200	185	△15
親会社株主に帰属する 当期純利益	3.4% 660	5.5% 1,100	439	4.1% 621	8.3% 1,290	668	39	△190	△229
(参考) 1株当たり 当期純利益（円）	94.80	162.24		89.24	190.26				
建設事業受注高	15,880	20,500	4,619	12,770	17,000	4,229	3,110	3,500	390

※子会社欄の数値は、連結決算から単体決算を差し引いて表示しております。

- ・2025年度通期の業績予想について、前期実績比で説明します。
- ・連結業績について、売上高は2兆100億円で656億円の増加、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、前期に比べ増益で見込みます。

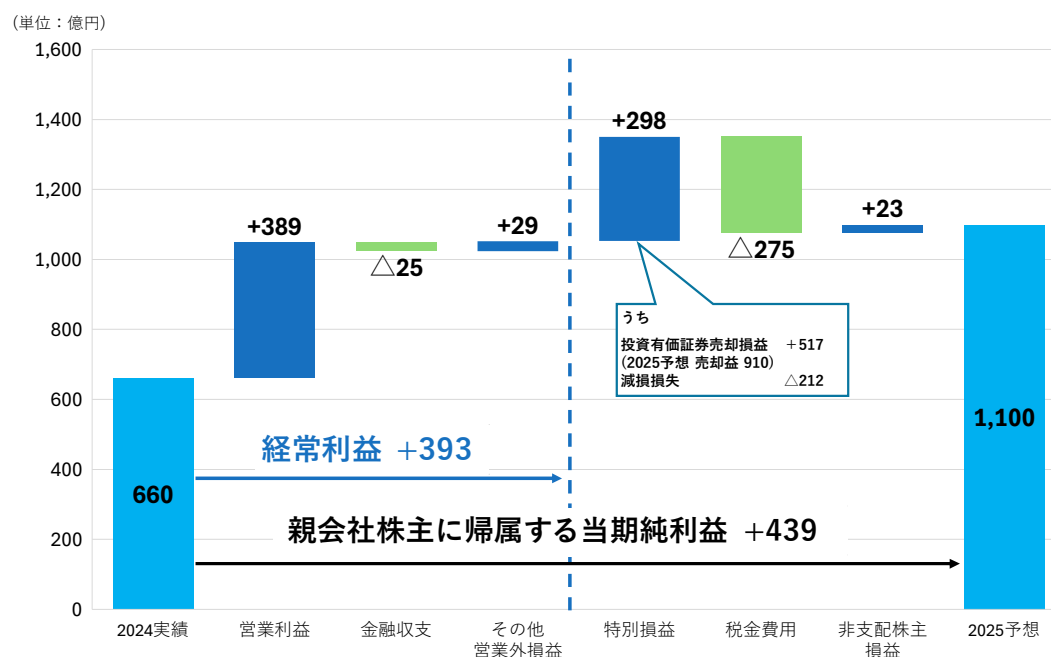
(単位：億円)



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

9

- ・ 営業利益の通期予想について、前期実績比での増減要因を説明します。
- ・ 営業利益は、開発事業等総利益が減少し、販管費は増加するものの、単体建築や建設子会社の完成工事総利益が増加することなどから、前期に比べ389億円の増益で見込みます。



- ・当期純利益の通期予想について、前期実績比での増減要因を説明します。
- ・経常利益は、前期に比べ393億円の増益で見込みます。
- ・特別損益は、減損損失が増加するものの、投資有価証券売却益が大幅に増加することなどから、前期に比べ298億円の改善で見込みます。
- ・この結果、当期純利益は1,100億円で、前期に比べ439億円の増益で見込みます。

3 事業別の概況

事業別の概況（単体）－実績

(単位：億円)			2024/3Q			2025/3Q			増減	
			売上高	利益率	売上総利益	売上高	利益率	売上総利益	売上高	売上総利益
建設事業	建築	国内	7,259	7.2%	520	7,855	10.0%	788	596	267
		海外	330	△0.0	△0	323	△4.2	△13	△6	△13
		計	7,589	6.9	520	8,179	9.5	775	589	254
	土木	国内	1,703	8.6	145	1,902	10.7	202	198	56
		海外	311	7.7	23	309	10.6	32	△2	8
		計	2,015	8.4	169	2,211	10.6	235	196	65
	合計	国内	8,962	7.4	666	9,757	10.2	991	794	324
		海外	642	3.7	23	633	3.0	19	△9	△4
		計	9,605	7.2	690	10,390	9.7	1,010	785	320
開発事業等			627	18.1	113	636	22.6	143	9	30
合 計			10,232	7.9	804	11,027	10.5	1,154	794	350

- ・単体建設事業の第3四半期実績について、建築・土木別、国内・海外別に記載しています。

3 事業別の概況

事業別の概況（単体）－通期予想（前回予想比）

(単位：億円)			前回予想			今回予想			増減	
			売上高	利益率	売上総利益	売上高	利益率	売上総利益	売上高	売上総利益
建設事業	建築	国内	10,700	9.4%	1,010	11,200	11.3%	1,260	500	250
		海外	450	△1.1	△5	550	△1.8	△10	100	△5
		計	11,150	9.0	1,005	11,750	10.6	1,250	600	245
	土木	国内	2,250	10.2	230	2,400	11.3	270	150	40
		海外	300	5.0	15	350	8.6	30	50	15
		計	2,550	9.6	245	2,750	10.9	300	200	55
	合 計	国内	12,950	9.6	1,240	13,600	11.3	1,530	650	290
		海外	750	1.3	10	900	2.2	20	150	10
		計	13,700	9.1	1,250	14,500	10.7	1,550	800	300
開発事業等			1,000	21.0	210	1,000	21.0	210	—	—
合 計			14,700	9.9	1,460	15,500	11.4	1,760	800	300

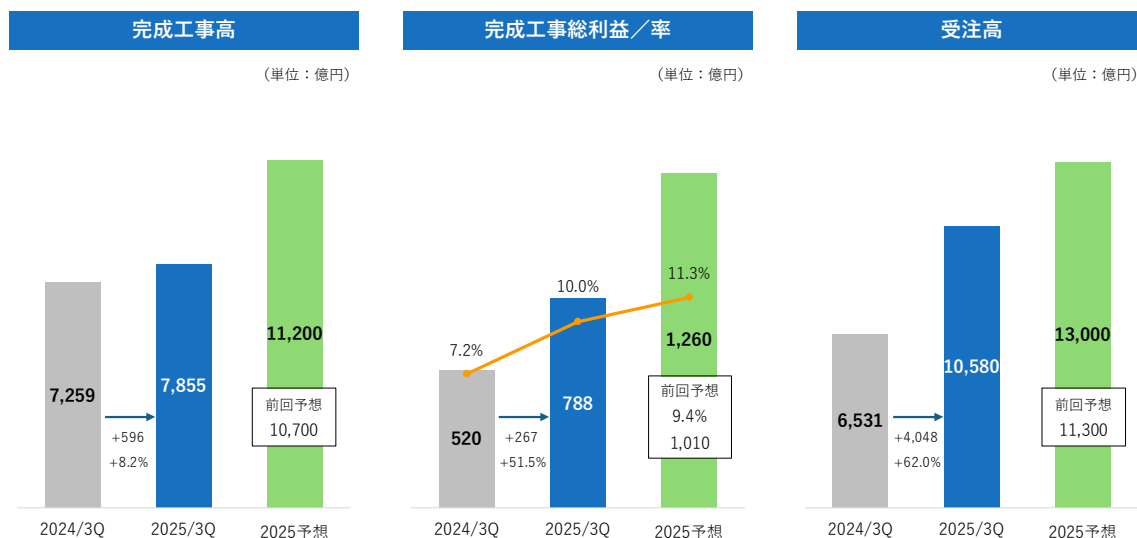
- ・単体建設事業の通期予想について、建築・土木別、国内・海外別に、前回予想比で記載しています。

3 事業別の概況

事業別の概況（単体）－通期予想（前期実績比）

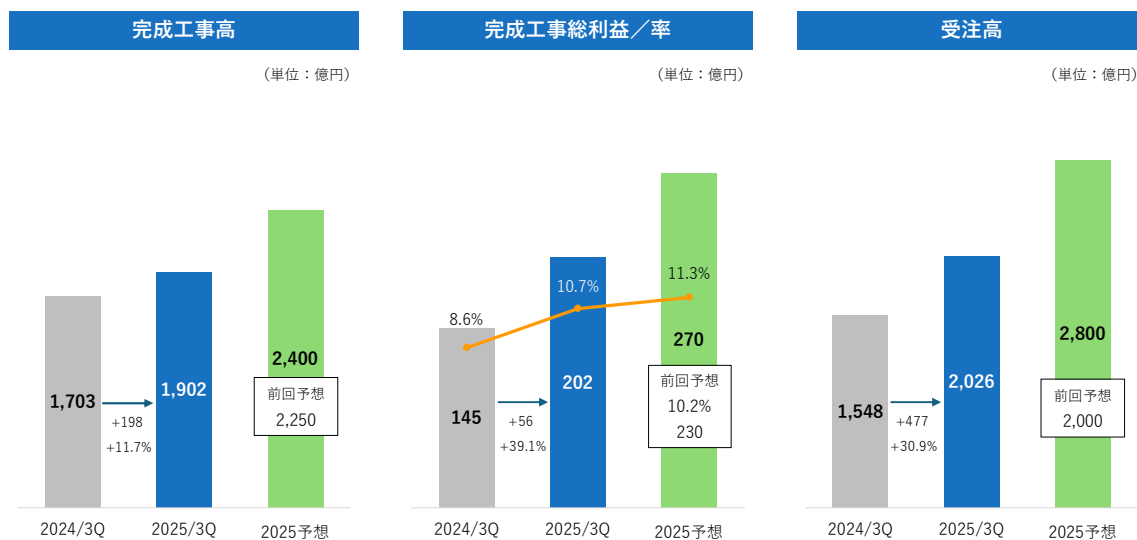
(単位：億円)			2024実績			2025予想			増減	
			売上高	利益率	売上総利益	売上高	利益率	売上総利益	売上高	売上総利益
建設事業	建築	国内	10,588	7.6%	809	11,200	11.3%	1,260	611	450
		海外	404	△2.5	△10	550	△1.8	△10	145	0
		計	10,992	7.3	799	11,750	10.6	1,250	757	450
	土木	国内	2,406	10.8	259	2,400	11.3	270	△6	10
		海外	420	7.8	32	350	8.6	30	△70	△2
		計	2,826	10.3	292	2,750	10.9	300	△76	7
	合	国内	12,994	8.2	1,069	13,600	11.3	1,530	605	460
		海外	825	2.7	22	900	2.2	20	74	△2
	業計	計	13,819	7.9	1,091	14,500	10.7	1,550	680	458
開発事業等			1,195	19.4	232	1,000	21.0	210	△195	△22
合 計			15,015	8.8	1,324	15,500	11.4	1,760	484	435

- ・単体建設事業の通期予想について、建築・土木別、国内・海外別に、前期実績比で記載しています。



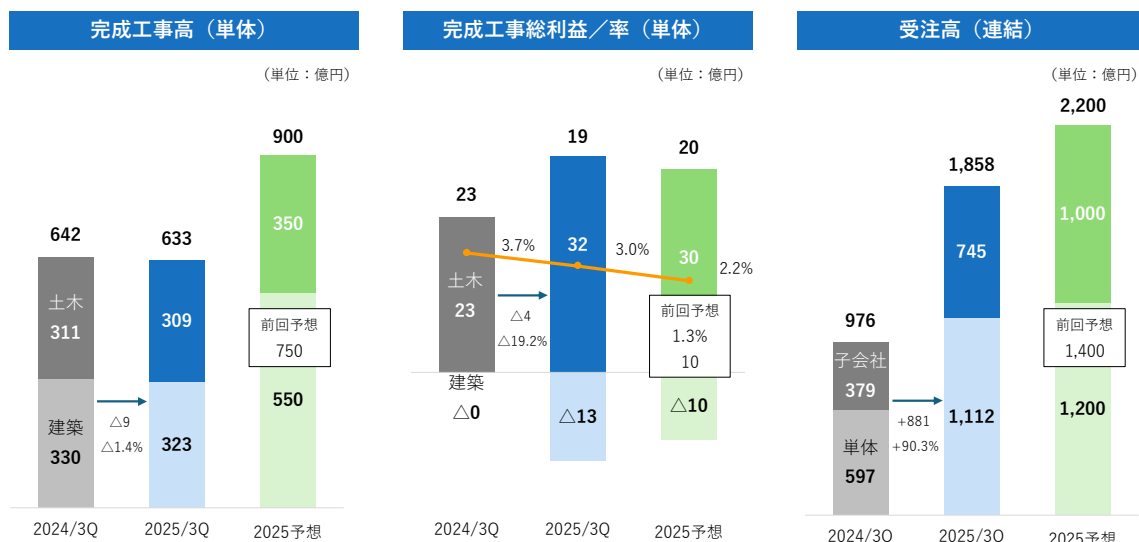
(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 14

- ・まず、単体の国内建築事業の概況について説明します。
- ・第3四半期の利益率は10.0%で、手持工事について追加変更工事の獲得や工事原価の圧縮などにより採算改善が進んだことにより、前年同期に比べ2.8ポイントの改善となりました。
- ・通期の利益率の予想は11.3%で、手持工事の採算改善が進んでいることに加え、受注時採算も期首の想定を上回って推移していることから、前回予想に比べ1.9ポイントの改善で見込みます。
- ・第3四半期の受注高は1兆580億円で、「内幸町一丁目」や「赤坂七丁目」といった大型再開発案件の受注があったことなどにより、前年同期に比べ4,048億円の大幅な増加となりました。
- ・通期の受注高予想は1兆3,000億円で、大型再開発案件の受注が計画どおりに進み、その他の大型工事、中小型工事や設計変更工事の受注も期首の想定以上に進んでいることから、前回予想に比べ1,700億円の増加で見込みます。



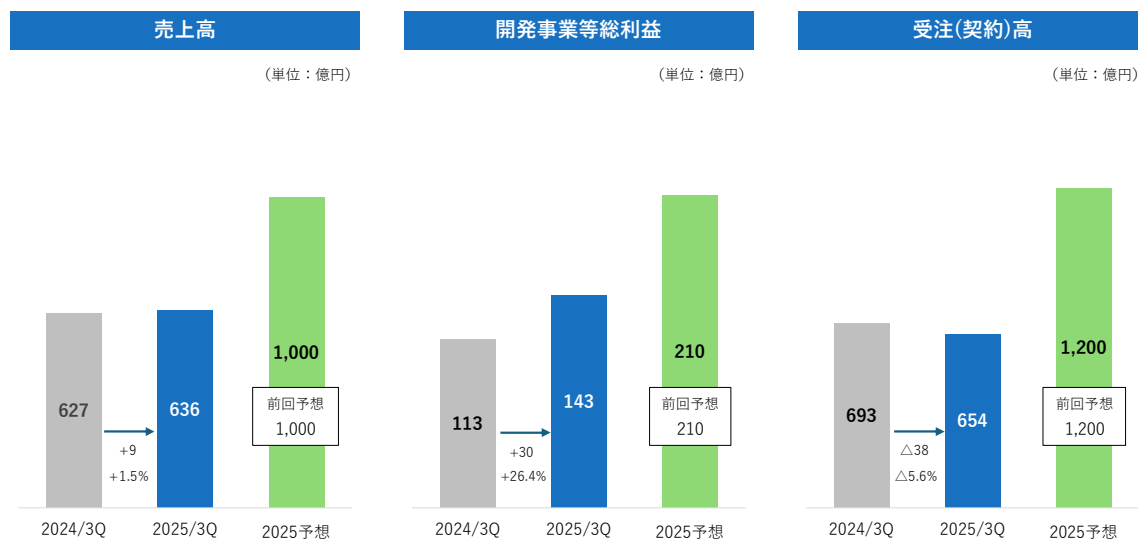
(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 15

- ・単体の国内土木事業の概況について説明します。
- ・第3四半期の利益率は10.7%で、引渡しを迎えた中小型工事や繰越工事の一部で、追加変更工事の獲得などによる利益改善があったことから、前年同期に比べ2.1ポイントの改善となりました。
- ・通期の利益率の予想は11.3%で、第4四半期についても、引渡しを迎える中小型工事について、一定の利益改善を期待し、前回予想に比べ1.1ポイントの改善で見込みます。
- ・第3四半期の受注高は2,026億円で、前年同期に比べ477億円の増加となりました。
- ・通期の受注高予想は2,800億円で、官庁・民間ともに受注が順調に進んだことから、前回予想に比べ800億円の増加で見込みます。



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 16

- ・ 海外の建設事業の概況について説明します。
- ・ 第3四半期の単体の海外建築の完成工事総利益は、13億円の損失となりました。過年度に工事損失引当金を計上した大型工事について、円安の影響で工事損失引当金を若干積み増したことなどによるものです。
- ・ 連結ベースの第3四半期の受注高は1,858億円で、前年同期に比べ881億円の増加となりました。
このうち、当社単体は、シンガポールで大型建築工事の受注があったことなどから515億円の増加となりました。
子会社は、新たに子会社となった2社（Grandwork社、Cross Management社）の受注高が反映されたことなどから366億円の増加となりました。
- ・ 連結ベースの海外受注高予想は2,200億円で、前回予想に比べ800億円の増加で見込みます。
そのうち、単体の海外建築は前回予想に比べ800億円の増加、海外土木は300億円の減少、子会社は300億円の増加で見込みます。



(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 17

- ・単体の開発事業等の概況について説明します。
- ・第3四半期の開発事業等総利益は143億円で、第1四半期に開発物件の売却があったことなどから、前年同期に比べ30億円利益が増加しました。
通期予想の210億円に対しては、概ね想定どおりに進捗しており、前回予想を修正しておりません。
- ・通期の受注(契約)高についても、前回予想を修正しておりません。

3 事業別の概況

事業別の概況（単体受注高）－通期予想（前回予想比）

(単位：億円)			前回予想		今回予想		増減	
			構成比		構成比		増減率	
建 築	国 内		11,300	80.7%	13,000	76.5%	1,700	15.0%
	海 外		200	1.4	1,000	5.9	800	400.0
	計		11,500	82.1	14,000	82.4	2,500	21.7
設 土 木	国 内		2,000	14.3	2,800	16.4	800	40.0
	海 外		500	3.6	200	1.2	△300	△60.0
	計		2,500	17.9	3,000	17.6	500	20.0
合 業 計	国 内		13,300	95.0	15,800	92.9	2,500	18.8
	海 外		700	5.0	1,200	7.1	500	71.4
	計		14,000	100	17,000	100	3,000	21.4
開発事業等			1,200		1,200		—	—
合 計			15,200		18,200		3,000	19.7

(参考) 海外受注高（連結）

(単位：億円)		前回予想	今回予想	増減	増減率
単 体		700	1,200	500	71.4%
子会社計		700	1,000	300	42.9
合 計		1,400	2,200	800	57.1

- ・通期の受注高予想について、建築・土木別、国内・海外別に、前回予想比で記載しています。

3 事業別の概況

事業別の概況（単体受注高）－通期予想（前期実績比）

(単位：億円)			2024実績		2025予想		増減	
				構成比		構成比		増減率
建設事業	建築	国内	9,892	77.5%	13,000	76.5%	3,107	31.4%
		海外	590	4.6	1,000	5.9	409	69.4
		計	10,483	82.1	14,000	82.4	3,516	33.5
	土木	国内	2,099	16.4	2,800	16.4	700	33.4
		海外	187	1.5	200	1.2	12	6.5
		計	2,286	17.9	3,000	17.6	713	31.2
	合計	国内	11,991	93.9	15,800	92.9	3,808	31.8
		海外	778	6.1	1,200	7.1	421	54.2
		計	12,770	100	17,000	100	4,229	33.1
開発事業等			1,272		1,200		△72	△5.7
合 計			14,042		18,200		4,157	29.6

（参考）海外受注高（連結）

(単位：億円)		2024実績	2025予想	増減	増減率
単 体		778	1,200	421	54.2%
子会社計		559	1,000	440	78.7
合 計		1,337	2,200	862	64.5

- ・通期の受注高予想について、建築・土木別、国内・海外別に、前期実績比で記載しています。

(単位：億円)

2025年3月末		2025年12月末		主な内訳		
				2025年3月末	2025年12月末	増減
流動資産 15,170	流動負債 12,083	流動資産 15,802	流動負債 12,486	現金預金 (億円)	2,941	2,435 △506
	固定負債 3,919		固定負債 4,149	政策保有株式 (億円)	2,489	2,352 △137
固定資産 10,071	純資産 9,239	固定資産 9,941	純資産 9,107	(うち評価差額)	(1,695)	(1,737) (42)
				政策保有株式 対連結純資産割合 (%)	26.9	25.8 —
総資産 25,242		総資産 25,743		工事損失引当金 (億円)	1,039	720 △319
				有利子負債 (億円)	5,913	6,572 658
				D/Eレシオ (倍)	0.69	0.73 —
				自己資本 (億円)	8,600	8,978 377
				自己資本比率 (%)	34.1	34.9 +0.8pt

※2026年3月期第3四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月末に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 20

- ・ 2025年12月末の連結貸借対照表について説明します。
- ・ 12月末の連結総資産は2兆5,743億円で、前期末に比べ501億円の増加となりました。
- ・ 資産・負債の主な内訳を右側に記載しています。
- ・ 連結の工事損失引当金の残高は720億円となり、前期末に比べ319億円減少しました。
- ・ 連結有利子負債の残高は6,572億円となり、前期末に比べ658億円増加しました。

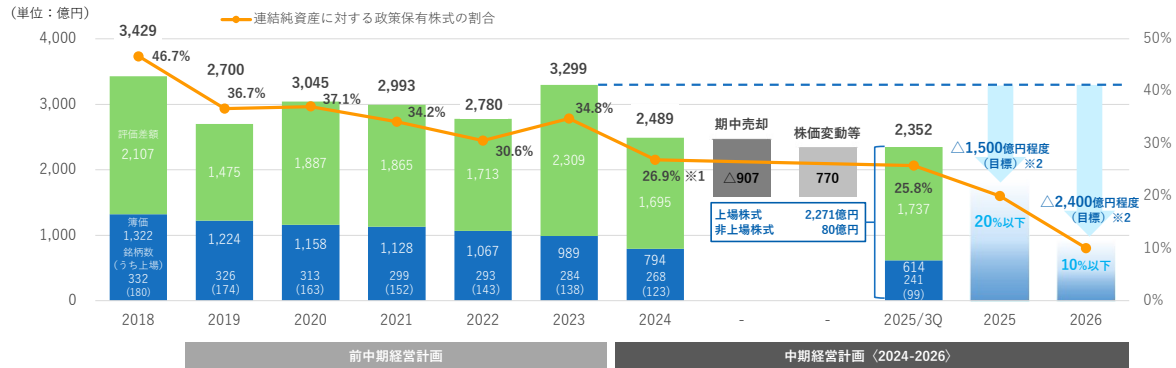
縮減目標 < 政策保有株式残高の連結純資産に対する比率 >

2026年3月末までに20%以下

2027年3月末までに10%以下、目標達成後も縮減を継続

政策保有株式の縮減に向けた保有先との対話は順調に進んでおり、「2027年3月末までに政策保有株式の残高を連結純資産の10%以下とする」目標については、達成できる見込みです。

政策保有株式残高の推移



■政策保有株式のうち、上場株式の売却実績

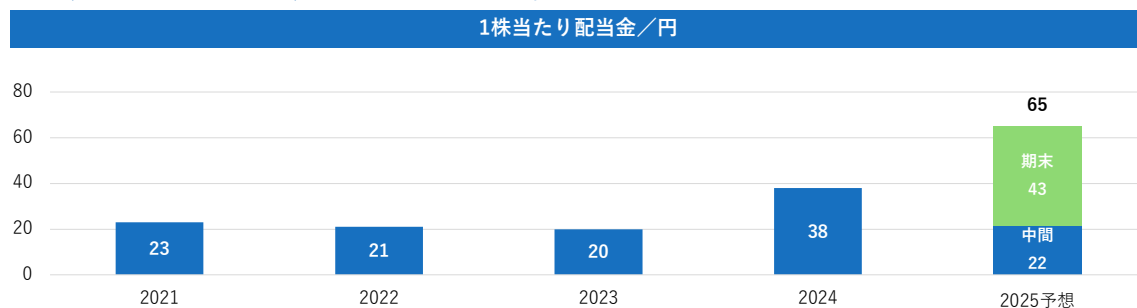
	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025/3Q	2025年度 売却見込 (今回修正)
売却銘柄数	10銘柄	10銘柄	18銘柄	18銘柄	21銘柄	16銘柄	31銘柄	34銘柄	40銘柄
売却額(億円)	122	168	197	128	263	621	586	906	1,120

※売却銘柄数には、一部売却及び複数年度での売却銘柄を含んでおります。

(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 21

- ・政策保有株式の縮減状況について説明します。
- ・2025年度第3四半期は34銘柄906億円の上場株式を売却しましたが、株価の上昇もあり、連結純資産に対する割合は25.8%と、2025年3月末から1.1ポイントの低下にとどまりました。
- ・2025年度通期では、40銘柄1,120億円の上場株式の売却を見込みます。
- ・政策保有株式の縮減に向けた保有先との対話は順調に進んでおり、「2027年3月末までに政策保有株式の残高を連結純資産の10%以下とする」目標については、達成できる見込みです。

- ・ 長期的発展の礎となる財務体質の強化と安定配当を基本方針としております。
- ・ 1株当たり配当金の下限を年20円としたうえで、成長により稼得した利益を連結配当性向40%を目安に還元することとしております。
- ・ **連結業績予想の上方修正に伴い、1株当たり年間配当金を前回予想の年44円から、21円増配の年65円（中間22円・期末43円）に修正しております。**



	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度予想
1株当たり 当期純利益(連結) (円)	64.09	66.29	23.57	94.80	162.24
連結配当性向 (%)	35.9	31.7	84.9	40.1	40.1
自己株式取得 (億円)	200	—	254	345	100
総還元性向 (%)	77.5	31.7	233.0	92.0	49.1

(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved. 22

- ・ 株主還元の状況について説明します。
- ・ 2025年度の配当予想については、連結業績予想の上方修正に伴い、1株当たり年間配当金を前回予想の年44円から、21円増配の年65円（中間22円・期末43円）に修正しております。
- ・ 2025年5月に公表した自己株式100億円の取得は、昨年9月までに完了しており、これを含めた総還元性向は49.1%となる見込みです。

当社は、2026年1月29日開催の取締役会において、あおみ建設が実施する第三者割当増資を引受け、同社を連結子会社化（完全子会社化）することを決議し、出資契約を締結いたしました。

連結子会社化の目的

あおみ建設は、海洋土木、陸上土木、地盤改良を主力事業とし、各分野で高い技術力と実績を有しており、本取引を通じて、あおみ建設の建設事業者としての経営ノウハウ・経営資源について、土木事業分野及び今後市場の成長が期待される洋上風力事業分野における協働・融合を図り、グループ一体で更なるシナジーを実現し事業拡大を推進することにより、一層の企業価値向上を目指してまいります。

あおみ建設の概要

(1) 名称	あおみ建設株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区外神田二丁目2番3号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 河邊 知之
(4) 事業内容	海洋土木、内陸土木、地盤改良、浚渫埋立工事等
(5) 資本金	3.5億円
(6) 設立年月日	1925年7月15日
(7) 連結財政状態	純資産：272.5億円 / 総資産：380.0億円（2025年3月期）
(8) 連結経営成績	売上高：314.8億円 / 営業利益：13.6億円（2025年3月期）

第三者割当増資引受けの概要

(1) 取得価額	250億円（第一回：133.4億円 / 第二回：116.6億円）
(2) 払込日	第一回：2026年3月30日 / 第二回：2026年6月下旬（予定）

(C)Copyright SHIMIZU CORPORATION. All rights reserved.

23

- ・1月29日に公表した、「あおみ建設株式会社の第三者割当増資引受による連結子会社化」について説明します。
- ・あおみ建設の第三者割当増資250億円を当社が引き受け、同社を連結子会社化する予定です。
- ・あおみ建設は、海洋土木、陸上土木、地盤改良を主力事業とし、各分野で高い技術力と実績を有しております。
本取引を通じて、土木事業分野及び洋上風力事業分野における協働・融合を図り、事業拡大を推進することにより、当社グループの一層の企業価値向上を目指してまいります。